

intra-mart イン트라ネット・スタートパック Ver.6.0

リリース・ノート

第4版 2008/10/10

1. はじめに

- (1) スタートパックが動作するには、intra-mart WebPlatform / intra-mart AppFramework Ver.6.0が必要です。
この本ドキュメントに記載されていない事項については、intra-mart WebPlatform / intra-mart AppFramework Ver.6.0の同製品のリリース・ノートを参考下さい。
- (2) 弊社の提供するドキュメントに記述の無いものについては、基本的にサポート対象外とさせていただきますのでご了承下さい。
- (3) 本製品に関する、最新の技術情報やパッチ情報は次のサイトをご覧ください。
Developer Support Site : <http://www.intra-mart.jp/support/intramart.cgi>
製品最新情報ダウンロードページ : <http://www.intra-mart.jp/download/product/index.html>
- (4) 導入について
 - ・インストールについては『intra-mart イン트라ネット・スタートパック Ver.6.0 インストールガイド』を参照して下さい。
 - ・イントラネット・スタートパック Ver.5.0からのデータ移行については『移行ガイド』を参照して下さい。
 - ・イントラネット・スタートパック Ver.6.0はintra-mart 営業支援システム Ver.5.0との共存はできませんのでご注意下さい。

2. バージョンアップ内容

以下にこのバージョンで提供する機能を列挙します。

- ◆ 画面デザインを一新しました。操作性が向上しています。(『機能対応表』参照)
- ◆ チームコラボレーション(SNS)機能
「コミュニティ」というグループを利用して、会社・組織をまたがったチーム間での情報共有ができます。
イントラネット上で、安全で、なおかつ組織の垣根を越えた情報共有・交換を実現します。
- ◆ スケジュール管理はスケジュールに名称変更しました。
- ◆ 施設予約管理は施設情報に名称変更しました。
- ◆ 施設予約状況検索は施設情報に集約しました。
- ◆ FAQは掲示板に統合しました。(『機能対応表』参照)
- ◆ 住所録のファイルエクスポート機能はVersion6.0で廃止されました。
- ◆ モバイル(imode)機能は次期 Revisionでの導入となります。

<機能対応表>

Version5.0	Version6.0	Point
スケジュール管理、 施設予約管理	スケジュール/施設情報	旧来よりも機能間の連携が強化されています。
施設予約管理 -[施設予約状況検索]	スケジュール/施設情報 -[空き状況確認]	「施設予約状況検索」機能を「空き状況確認」機能に集約することでスケジュールと施設情報の両方から使用できるようになりました。
伝言メモ、ToDo	スケジュール、ToDo	操作性の観点から統合しました。
掲示板	掲示板、電子会議室	利用目的に応じて使い分けができるように各機能を明確化しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ メッセージの掲示(周知) → 掲示板 ・ メッセージのやり取り → 電子会議室
FAQ	掲示板	FAQ を掲示板に集約することで操作性の向上を図りました。
マスタメンテナンス、 環境設定	個人設定、 マスタメンテナンス、 設定ファイル	以下の4つの用途にあわせて整理しました。 Sier(システム導入者) システム管理者 (ISP/SFA※の管理者です。IWP※管理者とは異なります) 部門管理者(各組織の管理者) 一般ユーザ(各組織のメンバー)
—	コラボレーション機能	新規機能 「コミュニティ」というグループを利用して、会社・組織をまたがったチーム間での情報共有ができます。 イン트라ネット上で、安全で、なおかつ組織の垣根を越えた情報共有・交換を実現します。

※ISP:intra-mart イン트라ネット・スタートパック Ver.6.0 の略称です。

※SFA:intra-mart 営業支援システムの略称です。

※IWP:intra-mart WebPlatform / intra-mart AppFramework Ver.6.0 の略称です。

注) Version5.0 の機能のうち、上の表に無いものは Version6.0 でも大きな変更無くサポートされています。

3. システム要件

intra-mart イン트라ネット・スタートバック Ver.6.0は、以下の製品上で動作します。動作環境については、以下の製品のリリース・ノートを参照して下さい。

◆ intra-mart WebPlatform / intra-mart AppFramework Ver.6.0

※ConceptBase 連携をするためには、以下の製品が必要になります。

ConceptBase intra-mart Edition CB Search

※駅すばあと連携をするためには、以下の製品が必要になります。

株式会社ヴァル研究所 駅すばあと イン트라ネット(2005年6月初版)

(サーバ OS は Windows2000 のみ)

<http://www.val.co.jp/>

◆ サーバ要件

- intra-mart WebPlatform / intra-mart AppFramework Ver.6.0 のサーバ要件に準拠します。

◆ ブラウザ要件

- intra-mart WebPlatform / intra-mart AppFramework Ver.6.0 のブラウザ要件に準拠します。

◆ WebMail の動作確認メールサーバ

- Cyrus IMAP4 server version 2.1.12
- Cyrus 版 AIR MAIL IMAP サーバシステムバージョン 5

4. 制限事項

(1) 駅すばあと使用時の注意点

intra-mart が利用する Web サーバと同一のマシンにインストールする必要があります(データのやりとりに Cookie を使用しているため)。但し、intra-mart が利用する Web サーバとは別の Web サーバにインストールしてください。

(例) Apache にて intra-mart をご利用の場合:

駅すばあととは IIS 等、別の Web サーバをご用意頂いてそちらにインストールしてください。

(2) intra-mart イン트라ネット・スタートバックの制限事項および注意事項

- タグの表記に用いられる記号(<,>,",&等)及び「'」(シングルクォート)をデータとして登録すると、正常に管理者用画面(マスタメンテ画面など)で表示できないなど、動作がおかしくなる場合があります。
- ファイル、フォルダの保存に関しては OS のファイルシステムに依存します。
- ファイルダウンロード時の挙動は、ブラウザに依存します。現在以下のような現象が発生することが確認されています。
 - ファイルダウンロード機能において「開く」を選択した場合にファイルの中身が表示されない場合があります。この場合はファイル名のリンクを「右クリック→保存」にてダウンロードすることができます。

また、NoCacheFilter を無効に設定する事で回避可能ですが、NoCacheFilter を無効に設定すると以下の操作が可能になってしまいます。

例: ブラウザの戻るボタンが有効になる。

NoCacheFilter の使用に関しましては、「intra-mart WebPlatform / intra-mart AppFramework Ver.6.0 ドキュメント 設定ガイド<サービス編>」(configuration_guide_v6.pdf)の「4.3.2.18 ブラウザにページをキャッシュさせないためのフィルタ」を参照ください。

なお、doc/imart/WEB-INF/web.xml 編集後は、以下の操作が必要です。

- intra-mart WebPlatform をご利用の場合: Application-Runtime の再起動
- intra-mart AppFramework をご利用の場合: Web コンテナへの再デプロイ

- ファイルダウンロード機能において IE6.0 (下記参照)で Excel ファイル(*.xls)等を直接開いた場合に、ブラウザで JavaScript 実行時エラーが発生する場合があります。

この場合はファイル名のリンクを「右クリック→保存」にてダウンロードすることができます。

上記事象に関して弊社で検証確認を行った結果(2007年1月31日現在)

◆正常に動作するブラウザ

Windows XP+sp2 の IE バージョン:6.0.2900.2180.xpsp2_dgr.050301-1519

Netscape 7.1

◆エラーが発生するブラウザ

Windows 2003 の IE バージョン:6.0.3790.0

Windows 2000 の IE バージョン:6.0.2800.1106

- ファイルダウンロード機能において、ブラウザで JavaScript 実行時エラーが表示される場合がありますが動作上問題ありません。
- ファイルダウンロード機能において、「0(ゼロ)byte」のファイルをダウンロードするとブラウザで JavaScript 実行時エラーが発生します。
- ファイルダウンロード機能において、ファイル名に「2byte」文字を含むファイルをダウンロードするとブラウザによってはファイル名の欄に任意の英数字が表示されます。
- ファイルダウンロード機能において、拡張子のないファイルを開くとエラーが発生します。
- グローバルポータルにスタートバックのポートレットを使用することは出来ません。
- アプリケーションロールがないユーザがスタートバックのポートレットを使用するとポートレットに「URL が不正です」と表示されます。
- [施設予約] - [施設更新・削除]画面で設定する「施設画像」は、予め以下のディレクトリに画像ファイルを保存してください。
Storage Service ルート/startpack/fsroot/(ログイングループ ID)/fact/picture/
なお、このディレクトリは自動生成されません。画像ファイルを保存するときに作成してください。
- キーワード検索をするときに、データベース上でメタ文字として扱われる文字を含むキーワード指定した場合、正しい結果を得られない場合があります。
- IE でスケジュール管理の CSV 出力をした場合に正しく出力できない場合があります。
- IE では「開く、又は保存する」のダイアログが複数回現われることがあります。
- startpack.ini において、STARTPACK_FILE_UPLOAD_SAVE_TYPE=real にした場合、以下の制限があります。

・ドキュメント管理

同一フォルダ内では重複した名前のファイルを保存できない。

(ドキュメント管理はフォルダごとに添付ファイルを保存する仕様です。)

・掲示板

同一掲示板種別内では重複した名前のファイルを保存できない。

(掲示板は掲示板種別ごとに添付ファイルを保存する仕様です。)

- グループポータル設定及びユーザポートレット設定において、ひとつのポータル画面に同じポートレットを2つ以上登録しないようにしてください。
- <施設情報「グループ(週)」>
週の途中で有効期限が切れた場合、有効期間外の予定も表示されます。(有効期間外の予約も登録できます。)
- <掲示板／電子会議室／WebMail (HTML 版送信画面)>
新規登録画面の内容入力エリアでは、「¥」(半角)と入力するとバックslashが表示されます。
- <掲示板／電子会議室／WebMail (HTML 版送信画面)>
「掲示板の内容入力欄」「電子会議室のコメント投稿」「WebMail 送信のメール内容入力欄」のキー動作は以下の通りです。
 - ・編集時に Enter キーのみ押下した場合は<P>タグを生成し、表示時に段落として表示されます。
 - ・編集時に Shift + Enter キーを押下した場合は
タグを生成し、表示時に改行として表示されます。
- <掲示板／電子会議室／WebMail (HTML 版送信画面)>
Undo、Redo や太字等の各ボタンは、クリックしても押されたような状態になる等のアニメーション効果はありません。
- <ドキュメント管理>
ワークフロー連携において申請中のプロセスをワークフローのプロセス操作で削除すると新規に申請しようとしても申請画面に該当のドキュメントが表示されません。また登録者本人及び管理者がドキュメント管理画面から該当ドキュメントを表示すると「このドキュメントは承認中です。」と表示されて編集、削除ボタンともに表示されないため、申請もできず、承認中状態でデータの更新・削除もできません。
- <ドキュメント管理>
ワークフロー連携で差し戻しや引き戻し処理で申請者タスクに戻った場合に該当ドキュメントの編集・削除ができません。また承認対象ドキュメントを再選択できません。
- <ドキュメント管理>ドキュメント管理のワークフロー連携
削除申請を否認されて削除を取り消したドキュメントを再び削除申請した場合、否認した時のプロセスの詳細画面では、そのドキュメントを参照できません。
- <ポータル>
新着配信情報ポートレットは『intra-mart イン트라ネット・スタートバック Ver.6.0』に含まれません。別途リリース予定です。(これにより、ログイン画面への配信機能は使えません。よって、新着営業日報ポートレットも使用することができません。)
- <個人設定>
スケジュールアクセス権設定 - グループアクセス権設定で、自分に権限を与えられていないユーザも、メンバー表示順設定画面に表示されます。(スケジュール画面では権限チェックが働きます)
- 掲示板／電子会議室／WebMail (HTML 版送信画面) で利用しているテキスト入力部分 (HTML の文字装飾ができる部分) は、ブラウザの editable document というオブジェクトを使用しています。

- WebMail の SMTP 認証で、CRAM-MD5 による SMTP 認証と DIGEST-MD5 による SMTP 認証には対応しておりません。
- Internet Explorer でスケジュール／施設の新規登録画面にタイトル入力を行うと CSJS エラーが表示される場合があります。その場合には、Internet Explorer の[インターネットオプション]-[詳細設定]で「スクリプトエラーごとに通知を表示する」オプションを OFF に設定してお使い下さい。
- 各ファイル添付機能において、ファイルの保存形式が id であっても、同一文書内に同名のファイルを追加することはできません（旧 Version と互換のため、同一文書内に同名のファイルを追加できる機能を、別途リリースする予定です）。
- スケジュール画面に表示されるスケジュールに関連するユーザが 1000 以上(全て別々のユーザ)いる場合、エラーとなります。
- ユーザが施設/備品を含めたスケジュールを登録する際に管理者により対象の施設/備品の削除を行うと、ユーザのスケジュール登録は、施設/備品は除外された状態で正常に登録されます。
運用開始後に施設の利用を停止したい場合は、有効期限を設定し、有効期限終了後の状態で削除することを推奨します。

(3) WebMail の制限事項および注意事項

当アプリケーションは、RFC822 に定義されるテキストメール及び MIME メール(インターネットメールの多目的拡張、主に RFC2045~RFC2049)に準拠したインターネットメッセージを扱えるように設計されています。よって、それらの基準に準拠しない受信メールの形式によっては受信に失敗したり、文字化けを起こすことがあります。制限事項は以下の通りです。

- 送信時に、複数の同じ名前のファイルを添付することができません。
- 一部の特殊文字で、メール送信できない文字があります。(メール送信画面上の注意事項ボタンを参照)
- 検索画面でメッセージを intra-mart サーバ側へキャッシュしているため、「次へ」「前へ」で画面を移動している間、未読・既読の変更がされません。(受信サーバが IMAP4 の場合)
- 画像付きの html メールには対応していません。
- 他のメールクライアントソフトで作成されたフォルダは、WebMail 側では削除できないことがあります。(受信サーバが IMAP4 の場合)
- MIME 形式でない添付ファイル付きメールは、添付ファイルとして識別してダウンロードすることができません。
- プログラムで異常終了またはスクリプトエラーが発生した場合、すぐにメール受信などができない場合があります。しばらく時間が経過した後、操作を開始してください。
- ブラウザの文字コードセットを自動選択にしていた場合、画面に CSJS エラーが表示される、若しくは意図した動作をしないことがあります。この場合、文字コードセットを「日本語 (Shift_JIS)」または「日本語 (EUC-JP)」にしてください。
- X-Servlet を使う場合に、アクセス URL が長いと引数の多いリンクを含む画面などでエラーが発生する端末があります。プロトコル部分を含めて 40 文字程度に収めてください。
- 「グループ管理者」が行った変更は、ログイン中にユーザにすぐに反映されません(ユーザの再ログイン時に反映されます)。例えば、任意のユーザでログインをした後、別ブラウザにて「グループ管理者」でログインをして、任意のユーザの有効期限を無効な日付に変更しても、任意のユーザは、メニューからページに遷移し

て、各処理を行うことができます。

- intra-mart ベースモジュール/フレームワーク Ver5.1 の国際化機能には対応していません。
- Sun Java Version 1.4.2_04 (build 1.4.2_04-b05) では、ISO_2022_JP のエンコーディングを使用した際、2 バイト文字 1 つの場合に java.nio.BufferOverflowException が発生します
(<http://developer.java.sun.com/developer/bugParade/bugs/5017922.html>)。
この問題により、intra-mart の以下の標準機能 (製品) が影響を受けます。
 - ・intra-mart ベースモジュール/フレームワークのメール送信機能
 - ・intra-mart WebMail のメール送信・受信機能
 - ・その他 intra-mart 製品のメール送信機能※メールのタイトルや本文等が2バイト文字1つの場合、java.nio.BufferOverflowException が発生します。
- 機種依存文字を表示するには、imart.xml において client-charset の設定を「MS932」にする必要があります。
client-charset の設定方法に関しましては、BaseModule の設定マニュアルをご参照下さい。
- POP3 サーバを使用している場合、「CAPA」コマンドをサポートしていないサーバを使用している場合に、「フォルダを open できない」というエラーが発生する可能性があります。
- WebMail の SMTP 認証で、CRAM-MD5 による SMTP 認証と DIGEST-MD5 による SMTP 認証には対応しておりません。

(4) その他

- intra-mart WebPlatform / intra-mart AppFramework Ver.6.0 の制限事項に準拠します。

5. 既知の障害

- 各ファイル添付機能において、ファイルの追加を行った際、既に登録してあるファイルの更新日時が、追加したファイルと同じ日時に更新されます。
- 掲示板へのメールによる投稿機能が正しく動作しません。

6. ライセンス表記

- JSONデータとJavaScriptオブジェクトの変換には、[json.js](http://www.json.org/js.html) (<http://www.json.org/js.html>) を改良したライブラリを使用しています。
- json.js 内で Array、Boolean、Date、Number、Object、String に対して toJSONString() 関数を プロトタイプオブジェクトとして設定しています。その為、for/in ループ文で取得可能なオブジェクト要素一覧に toJSONString() 関数が列挙されます。取得した要素が自オブジェクトのプロパティかどうかを、hasOwnProperty() 関数等を利用し、必要に応じて判定してください。

7. 著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国ならびにその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

各ソフトウェアのライセンスについては、同封のライセンスシートをご参照ください。

以上

<サイジングについて>

■ご注意

あくまで基本的に想定されるシステム構築例です。そのため、intra-mart 用にシステム構築する場合、最小限の目安程度に考えてください。

⇒実際には想定される利用状況を考慮し、サーバ規模／システム構成を検討する必要があります。

■前提条件(重要)

◆intra-mart イン트라ネット・スタートバック Ver.6.0 のみを標準状態で利用する場合を想定しています。

(カスタマイズを加える場合は、案件の業務設計・運用設計により別途サイジングを検討する必要があります)

◆同時アクセス数(セッション数)はユーザ数の10%~20%として、単純に算出しました。

⇒実際には、想定される利用状況等考慮の上、同時アクセス数(セッション数)を算出する必要があります。

◆イントラネットで利用する場合を想定しています。

⇒エクストラネットで利用する場合は、アクセス数(セッション数) /セキュリティ対策等に従い、サーバ規模/システム構成の再検討が必要です。

◆サイジングはユーザ数ではなく、同時アクセス数が重要な判断材料となります。

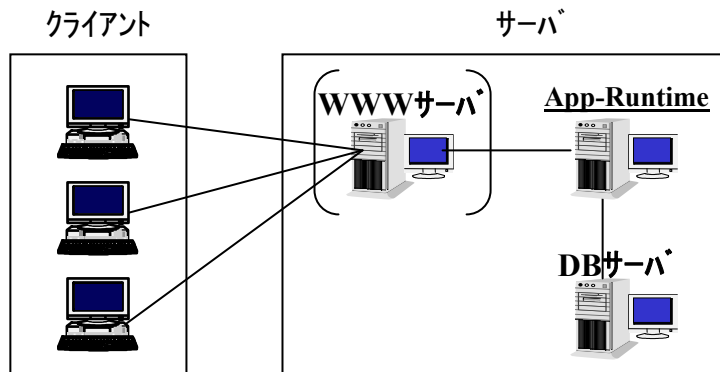
◆性能チェックは Oracle10g にて行っています。

◆WebMail を Main メーラーとして使用する場合には負荷が大きくなる可能性があります。

2~3倍程度負荷が大きくなることを想定してサイジングを行ってください。

5.1 ユーザ数 ⇒ ～50ユーザ

動作ソフトウェア	intra-mart スタートパック Ver6.0
ユーザ数	～50ユーザ程度
想定同時アクセス数	～10ユーザ(セッション数)



サーバ	種別	製品	必要数
WWW サーバ	OS	Windows 2003 Server	1
	ソフトウェア	Webサーバ(Apache) WebServerConnector	1 1
Application Runtime	OS	Windows 2003 Server	1
	intra-mart 関連	Application Runtime Application Runtime 以外各サービス	1 各 1
DB サーバ	OS	Windows 2003 Server	1
	ソフトウェア	RDB(Oracle10g TM)	1

【サーバ参考スペック】

(1) WWWサーバ

CPU: Xeon 3GHz × 1CPU以上

メモリ: 最低 1GB以上

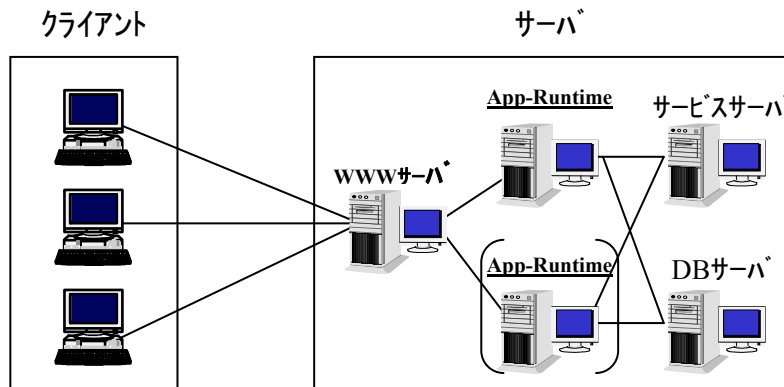
(2) Application Runtime /DBサーバ

CPU: Xeon 3GHz × 2 CPU 以上

メモリ: 最低1GB以上(推奨2GB以上)

5.2 ユーザ数 ⇒ ～100ユーザ

動作ソフトウェア	intra-mart スタートパック Ver 6.0
ユーザ数	～100ユーザ程度
想定同時アクセス数	～20ユーザ(セッション数)



サーバ	種別	製品	必要数
WWW サーバ	OS	Windows 2003 Server	1
	ソフトウェア	Webサーバ(Apache) WebServerConnector	1 1
Application Runtime	OS	Windows 2003 Server	2
	intra-mart 関連	Application Runtime	2
サービスサーバ	OS	Windows 2003 Server	1
	intra-mart 関連	Application Runtime 以外各サービス Server Manager	各 1
DB サーバ	OS	Windows 2003 Server	1
	ソフトウェア	RDB(Oracle10g [®] ™)	1

【サーバ参考スペック】

(1) WWWサーバ

CPU: Xeon 3GHz × 1CPU以上

メモリ: 最低 1GB以上

(2) Application Runtime

(3) サービスサーバ

CPU: Xeon 3GHz × 1～2 CPU 以上

メモリ: 最低2GB以上(推奨3GB以上)

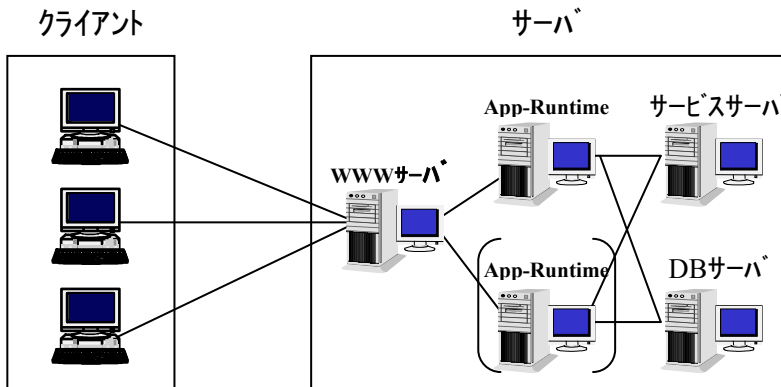
(4) DBサーバ

CPU: Xeon 3GHz × 2 CPU 以上

メモリ: 最低512MB以上

5.3 ユーザ数 ⇒ ～500ユーザ

動作ソフトウェア	intra-mart スタートパック Ver6.0
ユーザ数	～500ユーザ程度
想定同時アクセス数	～100ユーザ(セッション数)



サーバ	種別	製品	必要数
WWWサーバ	OS	Windows 2003 Server	1
	ソフトウェア	Webサーバ(Apache) WebServerConnector	1 1
Application Runtime	OS	Windows 2003 Server	4
	intra-mart 関連	Application Runtime	4
サービスサーバ	OS	Windows 2003 Server	1
	intra-mart 関連	Application Runtime 以外各サービス Server Manager	各 1
DBサーバ	OS	Windows 2003 Server	1
	ソフトウェア	RDB(Oracle10g [®] ™)	1

【サーバ参考スペック】

(1) WWWサーバ

CPU: Xeon 3GHz × 1CPU以上
メモリ: 最低 1GB以上

(2) Application Runtimeサーバ

(3) サービスサーバ

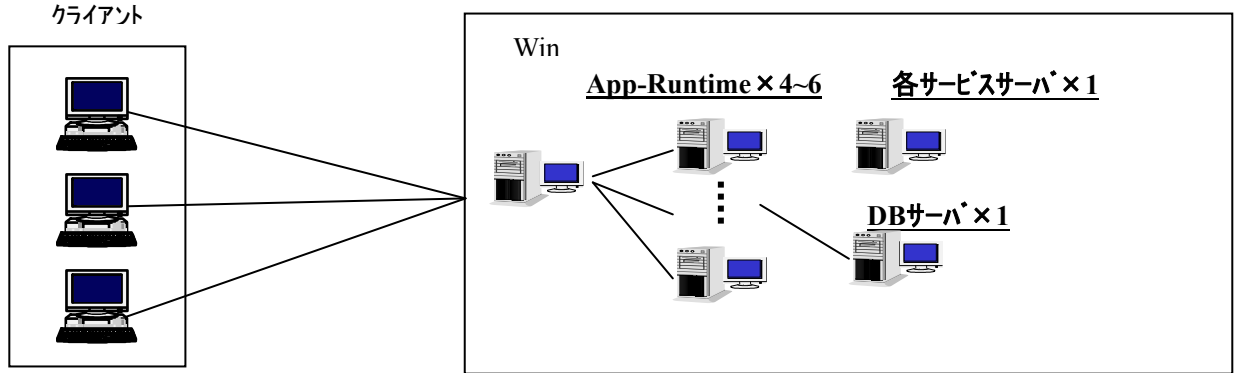
CPU: Xeon 3GHz × 1～2 CPU 以上
メモリ: 最低2GB以上(推奨3GB以上)

(4) DBサーバ

CPU: Xeon 3GHz × 2 CPU 以上
メモリ: 最低512MB以上

5.4 ユーザ数 ⇒ ～1000ユーザ

動作ソフトウェア	intra-mart スタートパック Ver6.0
ユーザ数	～1000ユーザ程度
想定同時アクセス数	～200ユーザ(セッション数)



サーバ	種別	製品	必要数
WWW サーバ	OS	Windows 2003 Server	1
	ソフトウェア	Webサーバ(Apache) WebServerConnector	1 1
Application Runtime	OS	Windows 2003 Server	6
	intra-mart 関連	Application Runtime	6
サービスサーバ	OS	Windows 2003 Server	1
	intra-mart 関連	Application Runtime 以外各サービス Server Manager	各 1
DB サーバ	OS	Windows 2003 Server	1
	ソフトウェア	RDB(Oracle10g [®] ™)	1

【サーバ参考スペック】

(1) WWWサーバ

CPU: Xeon 3GHz × 1CPU以上
メモリ: 最低 1GB以上

(2) Application Runtimeサーバ

(3) サービスサーバ

CPU: Xeon 3GHz × 1～2 CPU 以上
メモリ: 最低2GB以上(推奨3GB以上)

(4) DBサーバ

CPU: Xeon 3GHz × 2 CPU 以上
メモリ: 最低512MB以上